

福島第一原子力発電所 土壤中のPu分析結果<1/2>

1.測定結果：

(データ集約:3/19)  
(単位：Bq/kg・乾土)

採取場所 ( )は1,2号機スタックからの距離	採取日	Pu-238	Pu-239+Pu-240
グラウンド(西北西約500m) <sup>1</sup>	平成25年5月13日	N.D. [1.5 × 10 <sup>-2</sup> ]	N.D. [1.6 × 10 <sup>-2</sup> ]
野鳥の森(西約500m) <sup>1</sup>		N.D. [1.2 × 10 <sup>-2</sup> ]	(3.0 ± 0.63) × 10 <sup>-2</sup>
産廃処分場近傍(南南西約500m) <sup>1</sup>		(2.4 ± 0.71) × 10 <sup>-2</sup>	N.D. [2.1 × 10 <sup>-2</sup> ]
国内の土壤(昭和53年～平成20年) <sup>2</sup>		N.D. ~ 1.5 × 10 <sup>-1</sup>	N.D. ~ 4.5

[ ]内は検出限界値を示す

- 1：過去のサンプリングが重ならないよう隣接地を採取。  
2：出典「環境放射線データベース」(文部科学省)

2.分析機関：株式会社 化研

3.評価：

平成25年5月13日に検出されたPu-238とPu-239+Pu-240の濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウトと同様なレベルである。しかし、これまでの結果から、今回の事故に由来する可能性が考えられる。

以上

福島第一原子力発電所 土壤中のPu分析結果<2/2>

1.測定結果：

(データ集約:3/19)  
(単位：Bq/kg・乾土)

採取場所 ( )は1,2号機スタックからの距離	採取日	Pu-238	Pu-239+Pu-240
グラウンド(西北西約500m) <sup>1</sup>	平成25年7月15日	N.D. [2.3 × 10 <sup>-2</sup> ]	N.D. [2.3 × 10 <sup>-2</sup> ]
野鳥の森(西約500m) <sup>1</sup>		N.D. [2.5 × 10 <sup>-2</sup> ]	N.D. [2.7 × 10 <sup>-2</sup> ]
産廃処分場近傍(南南西約500m) <sup>1</sup>		N.D. [1.8 × 10 <sup>-2</sup> ]	(5.9 ± 1.1) × 10 <sup>-2</sup>
国内の土壤(昭和53年～平成20年) <sup>2</sup>		N.D. ~ 1.5 × 10 <sup>-1</sup>	N.D. ~ 4.5

[ ]内は検出限界値を示す

- 1：過去のサンプリングが重ならないよう隣接地を採取。  
2：出典「環境放射線データベース」(文部科学省)

2.分析機関：株式会社 化研

3.評価：

平成25年7月15日に検出されたPu-239+Pu-240の濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウトと同様なレベルである。しかし、これまでの結果から、今回の事故に由来する可能性が考えられる。

以上